

I 研究主題名：

主体的に自分の考えや気持ちを表現できる児童の育成



～外国語を用いたコミュニケーションを楽しむ活動の工夫を通して～

II 研究主題設定の理由

これまでの外国語活動・外国語科の授業を通して、本校の児童は、積極的に英語表現を聞いたり、基本的な表現を使って質問したり答えたりすることができるようになってきた。その一方で、英語を用いて自分の考えや気持ちを表現することに苦手意識を持つ児童やコミュニケーションをとること自体を楽しむことができない児童がいる。そこで、外国語活動・外国語科において、教師が外国語を用いたコミュニケーションを楽しむ活動を工夫することで、児童がコミュニケーションの楽しさや大切さを実感し、主体的に自分の考えや気持ちを表現できるようになるのではないかと考え、本テーマを設定した。

III 学年・領域

6学年では「One World Smiles 6」、5学年では「Junior Sunshine 5」、3、4学年では「Let's try」、各出版社の年間指導計画、1、2学年では、市の提供する年間計画を基に指導を進める。

<p>1, 2年の指導内容</p> <ul style="list-style-type: none">・あいさつ、自己紹介・天気、曜日、数・果物や野菜・体の部位・気持ち・色や形・動物や昆虫・行事	<p>Let's Try!1,2</p> 	<p>Junior Sunshine 5, One World Smiles 6</p> 
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

IV 各学年の取り組み

1 1学年の取り組み (Topic: Action Words)

「Action Words」の学習では、Walk や Run、Hop、Sit Down など、実際に身体を動かしながら基本的な動作に関する英語表現に慣れ親しんだ。単元の後半では、「Run, Touch and Act」や「Whisper Relay」などチームで協力する内容のゲームで、これまでに学習した動作の表現を言ったり、動きで表現したりすることができた。どの児童も、友達と助け合いながら楽しんで活動する様子がみられた。(写真1、2)



2 2学年の取り組み (Topic: 「Colors and Shapes 」)

色や形の表現に慣れ親しむことを中心領域に単元計画を立てた。色や形を描く活動やゲームを通して、基本的な色や形、組み合わせた表現を繰り返しインプット&アウトプットして、楽しく活動できるように工夫した。単元後半では、“What’s this?” “It’s a (color)(shape).”と、児童同士で質問したり答えたりする活動を行った。ALT や HRT、友達とのやり取りを通して表現に慣れ親しみ、質問に対してほとんどの児童が英語で答えられるようになった。



写真3 ALT と児童のやり取り

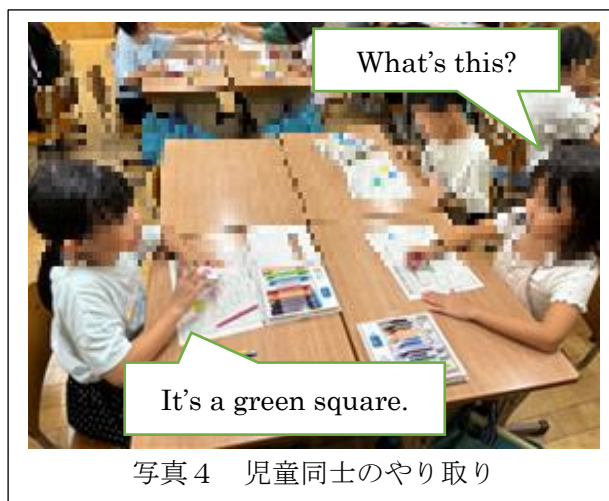


写真4 児童同士のやり取り

3 3学年の取り組み (Let's Try 1 Unit 8 「What's this? 」)

「Unit 8 What's this?」では、単元のゴールを「友達とクイズ大会を楽しもう」と設定した。単元入替した前単元「Unit 9 Who's this?」では、動物の色や鳴き声、特徴などについての英語表現に慣れ親しみ、それらを使ってヒントクイズを出し合う活動に取り組んだ。この活動を発展させ、本単元ではシェイククイズや漢字クイズ等を通して、これまで学んだ英語表現を生かして慣れ親しんだ(写真5)。単元終末のヒントクイズでは、児童は「It's (color/shape/特徴等).」 “It's a (answer).” と、簡単すぎず難しすぎないようにヒントの出し方を工夫して、互いに楽しめるように活動していた(写真6)。



4 4学年の取り組み (Let's try2 Unit7 「What do you want? ほしいものは何かな?」)

「What do you want?」の学習では、相手が欲しいものを尋ねたり、欲しいものを伝えたりする表現に慣れ親しんだ。第1時で単元のゴールの活動を提示し、毎時間全体で確認することで、本時の学習内容をしっかり習得しようとする児童の様子が見られた。タブレット端末でオリジナルパフエを作り、「What do you want?」「Two, please.」「Here you are.」など、学習した表現を生かして、楽しみながら友達とやり取りしている姿が見られた(写真8)。



5 5学年の取り組み (Unit 8 「My Hero」)

「友達や家族にマイヒーローのことを伝えよう」という単元のゴールを設定した。マイヒーローの得意なことだけでなく、自分のことを支えてくれている存在であるということに気付いてほしいという願いから、自分の気持ちや感謝していることを伝え合うことをゴールにして取り組んだ。家族や友達、部活動や習い事のコーチのことなど、授業が進むにつれて一人一人の頑張っていることと身近な存在の大切さを実感できるスピーチの内容へと成長が見られた(写真9、10)。



6 6学年の取り組み

(1) 単元名 **Welcome to Japan.** 日本のよさをしょうかいしよう (教育出版『One World Smiles 6』Lesson 3)

(2) 単元の見どころ

- ① 日本の行事や食べ物、味の表現を、聞いたり言ったりすることができる。(知識及び技能)
- ② 日本の文化をしょうかいするための表し方を知り、聞いたり言ったりすることができる。(知識及び技能)
- ③ ポスターをつくり、好きな日本の文化をしょうかいすることができる。(知識及び技能)
- ④ 日本の文化のよさがよく伝わるポスターになるようにくふうしたり、よりよく伝わる発表になるようにくふうしたりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ⑤ 活動でくふうしたことや気づいたことを、その後の学習でいかそうとする(学びに向かう力、人間性等)

(3) 単元の評価規準 ◎中心領域「話すこと(発表)」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><知識> 行事や食べ物、食べ物の味の語句や、日本の行事や文化を紹介する表現、感想を伝える表現 (You can 【できること】 in 【四季】.など) について理解している。</p> <p><技能> 行事や食べ物、食べ物の味の語句や、日本の行事や文化を紹介する表現、感想を伝える表現 (You can 【できること】 in 【四季】.など) について発表する技能を身に付けている。</p>	<p>友達や海外から来た人に日本を紹介するために、おすすめの日本文化や行事・四季・食べ物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表している。</p>	<p>友達や海外から来た人に日本を紹介するために、おすすめの日本文化や行事・四季・食べ物について、これまでの学習の中で気づいたことを活かしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、発表しようとしている。</p>

(4) 単元の指導計画・評価計画 (全9時間)

時間	ねらい	学習活動	評価規準			評価方法
			知技	思判表	主	
1	単元のゴールを知り、学習の見通しを持つ。	・紹介する内容の役割分担を決める。			○	行動観察 ロイロノート
2 3	日本や沖縄の文化を紹介するために必要な英語表現を知る。	・既習表現を使って話す。 ・簡単に言い換えることができるか考える。 ・相手に必要な紹介内容を考える。	○	○	○	行動観察
4	日本や沖縄の文化を紹介するために、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝える。	・グループ同士で発表を聞いて、互いに内容についてアドバイスをする。		○	○	行動観察 振り返りシート
5 6	ALT に日本や沖縄の文化を紹介するために、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝える。	・海外から来た ALT に分かりやすく伝えることができるか、実際にスピーチしてみる。 ・自分やグループの課題に気づき、相談して改善する。	◎	◎		行動観察 振り返りシート ◎パフォーマンス評価
7 8,9	海外から来た先生方に日本や沖縄の文化のよさについて、既習表現を使って分かりやすく紹介する。	・海外から来た先生方に、日本や沖縄の文化について分かりやすく紹介する。 ・相手の興味関心に合わせて伝えるために、質問したり、相手の質問に答えたりする。		◎	◎	行動観察 振り返りシート

(5) 指導の実際

第1時では、「海外から来た先生方のために日本の素敵どころについて紹介しよう」という単元のゴールと単元計画を確認した(資料1)。紹介する内容が重複しないように、グループのメンバーやグループ同士で相談しながら役割分担を決めた。第2、3時では、どのような内容を伝えるか、既習表現を使ってどのように表現したら相手に分かりやすいか、中間指導において全体で共有して取り組んだ(写真11、12)。第4時では、グループ同士で互いのプレゼンに対して、感想やアドバイスを伝える活動を設定した。第5、6時では、海外出身のALTのためにプレゼンする活動を設定した。ALTの反応から、紹介する内容や表現方法など、自分自身の課題に気づきグループで協力して改善する姿が見られた。Final Activityでは、海外から沖縄に来ている先生方を迎え、日本や沖縄の文化や食べ物について紹介した(写真13、14)。「初めは緊張したが、先生方の反応が良くて、楽しんでできるようになった。」と、多くの児童が最後の活動で頑張ったことについて振り返っていた。

6th Lesson 3 Welcome to Japan.(Shimashi)

海外から来た先生のために日本の素敵どころについて伝えよう。

⑨先生方のためにプレゼンしよう。(2h)

⑧プレゼン本番の準備をしよう。

⑦プレゼンを改善しよう。③

⑥プレゼンを改善しよう。②

⑤プレゼンを改善しよう。①

④プレゼンの準備をしよう。③

③プレゼンの準備をしよう。②

②プレゼンの準備をしよう。①

①役割分担を決めよう。

・日本の文化や行事、食べ物など
・相手がトライしたくなるような発表

資料1 単元計画



写真11 個人のめあてとふりかえりの様子



写真12 グループで相談する様子

You can eat Japanese food, UNAGI.



You can enjoy Okinawan CHANPURU.



写真 13,14 Final Activity の活動の様子

V 成果と課題

1 成果

- (1) 天気や気分の言い方、色や形など、身近な事柄に関する英語表現を繰り返し聞いたり言ったりすることで、積極的に表現しようとする姿が見られた。
- (2) ゲームやチャンツ、ペア学習など様々な学習形態を通して、基本的な表現に慣れ親しむことができた。単元のゴールを確認して活動を始めることで、目的意識を持ち、主体的にコミュニケーションをとって活動しようとする児童が増えてきた。
- (3) 目的に応じて聞いたり、基本的な英語表現を使って話したりする様子が見られた。児童自身が単元の見通しを持ち、ゴールに向けて取り出す中で、主体的に自分の考えや気持ちを伝えようと活動する児童が増えてきた。

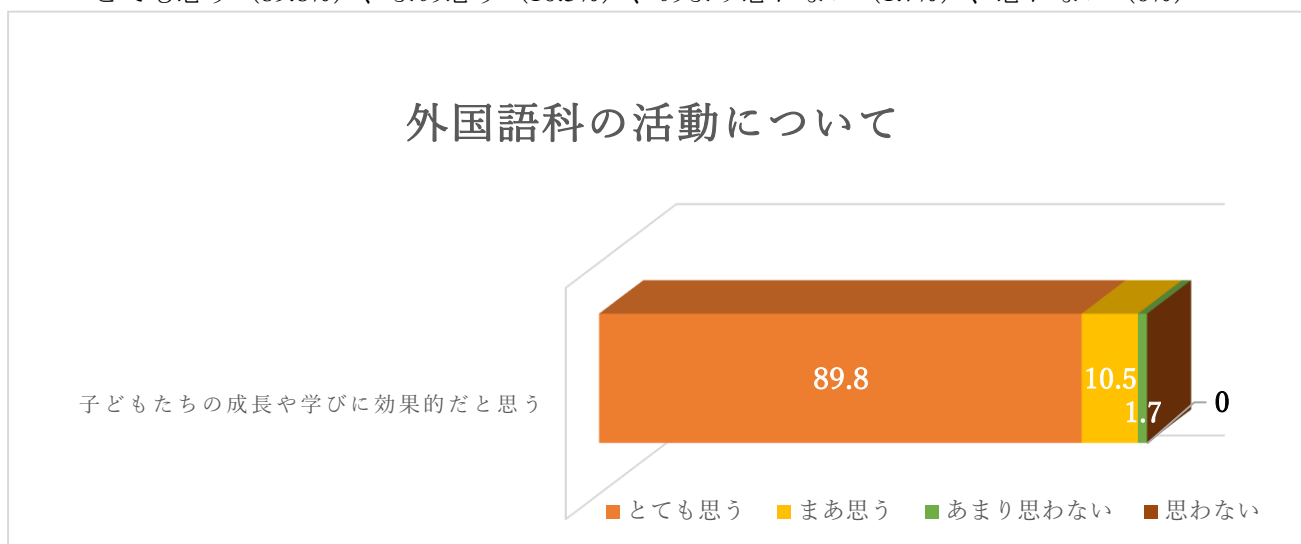
2 課題（改善策）

- (1) コミュニケーション自体を楽しむことが難しい、英語を使って自分の考えや気持ちを表現することに苦手意識を持つ児童がいる。1, 2 学年においては、学年や学級に応じた学習活動の工夫が必要である。3, 4 学年では、単なるリピートではなく、英語を使って自分の考えや気持ちを伝える言語活動に近づくための活動を工夫して、目的に応じたコミュニケーションへの気づきを促したい。5, 6 年では、児童がゴールに向けて目的意識をもち、主体的に学習に取り組めるよう学習内容や指導方法を工夫する。学習過程のやり取りやゴールの活動を通して、互いに伝え合うことの楽しさや自己の成長を実感できるようにしたい。
- (2) 自分のめあてを設定したり、必要な学習を自分で選択して取り組んだりすることが難しい児童が多い。外国語活動・外国語科でのやり取りを通して、コミュニケーションを図るときに大切なことや楽しさ、自分の課題と学び方について気づかせていきたい。

VI 外部評価

6年児童は、7月は海外のツアープランの紹介、12月は小学校生活の思い出、3月は将来の夢と中学校でがんばりたいことについて、家族の方に向けてのスピーチも実施した。タブレット端末で撮影した動画を、保護者の方に視聴して頂いた。3月の動画視聴後のアンケート結果（117名回答）について、以下に記す。

- 1 このような外国語科の活動について、子どもたちの学びや成長に効果的だと思いますか。
とても思う（89.8%）、まあ思う（10.5%）、あまり思わない（1.7%）、思わない（0%）



② ご意見、ご感想

- この1年間で英語への関心がとても高くなったと思います。これからも自分の夢に向かって頑張ってもらいたいです。
- ここまでスムーズに会話ができるとは思っていませんでした。日頃のご指導に感謝します。
- 小学校で英語を学んで、これだけ自分の気持ちを英語で表現できるのは素晴らしいと思いました。文法的に間違っている部分もありましたが、それは今後詳しく学んでいけばいいと思いますし、英語で自己表現するという点では、本当に良い学習ができたと思います。ありがとうございます。
- 自分の子供の勉強姿を見て、最初も出来ていると思っていたけど、今回の動画は前回前々回とは違って成長したなと思いました。
- 好きなことを英語スピーチするため、楽しく話していました。好きなことから英語を覚えていくことで苦手意識もなく、これからも学んでいってほしいなと感じました。
- 英語が苦手と話していたが、頑張ってお話を伝えようとしてくれてとても良かったです。ありがとうございます。
- この6年間で英語まで話せるようになっていて、とても成長したなと思いました。
- クラスメイトと協力しながら、実際に会話やコミュニケーションを図る授業ができていていい取り組みだと思いました。これからは話すことに力点を置いて授業ができるといいなと思います。
- これからの希望や、やりたいことへの思いをきちんと英語で話していてすばらしかったです。今回の発表だけでなく、今後も英語で色々なスピーチができる機会を作っていただければいいなと思います。また、やりたいことは自分が納得するまで思い切り挑戦して行ってほしいです。